



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

雪だるま

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 P.M 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会長 鈴木 弥一郎
幹事 中 江 亮

Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第 893 号 1977. 2. 8 (火) (ゆき) No.27

— 本日のプログラム —

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (手に手つないで)
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 会長報告
5. 幹事報告
6. 委員会報告
 - ❖職業奉仕委員会 (佐藤 衛君)
 - 2月15日の職場見学についての説明 ①松文産業KK工場見学、女子寮に集合
 - ②出来るだけ徒歩で ③洋服の着地を原価で販売する
 - ❖S.A.A (内山喜一君)
 - 2月15日の職場見学の会場、食事について
 - 2月15日の例会場の破損 (ピータイル) を佐藤衛君が無料で修理しました。
 - ❖規定審議会の制定案、決議案の説明 (三井健君ロータリー情報委員長)
 - 詳細は会報にのせる。
 - ❖卓 話 (小池繁治君プログラム委員長)
 - 超過勤務と労働契約について
7. 情報抄録 1976年12月号より
8. 出席報告

■ゲスト・ビジター紹介

小林忠康君、半田勇三郎君、菅原年雄君、上野十九治君、加藤広君、佐藤拓君—鶴岡西R・C
渡部晃雄君—温海R・C 北川武雄君—酒田R・C

■会長報告

- ① 先般当クラブ姉妹クラブの台湾、台中港クラブより5月に韓国を巡り、当クラブを訪問したいと云う連絡がありましたがつい先日、中江幹事さんに会員及びご家族を含む30名お揃いで当クラブを訪問したいと云う連絡が入りました。従いまして姉妹クラブでもありませんし、次年度は台中港創立3周年記念式典の招待もあるわけですので温く迎えたいと考えます。
- ② ロータリー財団奨学生推選について
佐藤恵子(専大卒)国文科 23才、市内陽光町、剣道3段
鈴木善作会員を通じてロータリー財団奨学生の推選があり、理事会で決定する事にしました。
- ③ 2月22日当例会でロータリー創立72周年記念日を迎える事になりますが、そのプログラムの中にG・S・E派遣の鶴岡ローターアクトクラブの進藤昇君のアメリカ在中のお話、スライド等行うそうです。御期待下さい。

■幹事報告

- 会報到着案内～塩釜R・C、村上R・C、東京R・C
- ローターアクト歓送迎会～2月9日(水)P.M 6:30～日野園 @ 3,000円
- 当クラブ例会変更
2月15日～松文産業工場～詳細は職業奉仕
- 10周年記念式典案内
第354地区仁賀保R・C 4月24日(日)於 仁賀保町運動公園会館 登録料 @9,000円

■委員会報告

<卓 話> 労働基準法の労働時間の解釈について 小池繁治君

- ① 開店10時なら、9時半迄出勤するのが常識的に思うが、果して30分超過勤務になるのかどうか。
- ② 役所での受付で5時迄入れれば何んでも受付けるべきか、それとも5時になったら受付しないで帰ってもよいか、等労働時間について考えさせられます。
お客様は神様であるという事でおお客様の非常識的な考えに対して答えなければならないのか? 私の考えと違う面が色々あります。

■情報抄録

<今でも1930年当時と同じことが言えるか>

元会長のドナルド A. アダムスは、1930年に行なった演説で、次のようなことを言っている。「これからの25年間にロータリーがどうなっていくかは、個々のロータリアンの考え如何によって決まることになると思う。会長も理事会も、個人のような働きはできない。個人に誠実、識見、そして理解というものがなかったら、ロータリーの発展もそれまでということになる。」

「すべては個人次第である国家間の友好といっても、それは個人的なものであって、国に関することではない。2つの国の間の友好の第1歩は、その2つの国の個人同士が親しくなったときに始まるのである。ドイツ、英国あるいはイタリアとの貿易などと言っているがそんなものは存在しない。存在しているのは、ただ、これらの国民との貿易ということだけである。」

<ロータリーが見事な演奏をするとき>

「この間の晩、市のバンドのリハーサルのときに、私は、大きな銀色の変ロ音ベースの奏者のすぐそばの席にいた。彼の演奏ぶりを眺めながら私は考えた—「このバンドが彼だけだったとしたら、役の演奏のすばらしさがわからない人もいるのではないか」と。もちろん、バンドは彼だけではなかったで、その楽器の音は、ほかの楽器とまざりあって、快よい諧調をつくりだしていた。そこで、私はロータリーと自分たちのクラブのことを考えてみたのである。みんなが真のロータリー精神によって各自の任務を果すようにすれば、りっぱなクラブとは、誰もが、大小にかかわらず、それぞれの任務を果しながら、渾然一体となっているクラブのことだ、ということがわかってくると思う。そして、これは、聴衆、つまり見ている者の目にはすぐわかることである。」—— ニュージールランド、ホークスベイ、ネピア・ロータリー・クラブ会長。

<マンチェスター会長の言葉—ロータリーについて>

ロータリーの目的は何か。われわれの存在理由となっているものは何か。マンチェスター会長は、本ロータリー年度の初めに行なった講演で次のように述べている。「われわれが力としているのは、われわれが他からの奉仕を求めず、他人のために奉仕する、ということであります。ここに、成功を取めようとするわれわれを正しく導いてくれる唯一の原理が存するのであります。私は別に新しいモットーやスローガンは申し上げませんが、その代わり、皆さんを、ロータリーが唯一の目標としているもの——4分の3世紀に近いロータリーの発展過程において、その中核となり、そのまわりに現在のロータリーを築き上げたいわばロータリーの城塞ともいべきものにご案内申し上げたい。その城塞とは、すなわち、『奉仕の理想を鼓吹し、これを育成すること』であります。」

ロハート A. マンチェスター氏講演

<ポール・ハリス、人生の意義について>

ロータリーの創設者、ポール・ハリスは、その晩年の著書の一つに、次のように記して

いる。「長い歳月をふり返ってみたとき、一時は大へんなことに思っていたものが、今ではつまらないものになってしまっているというようなことがたくさんあるものだが、一方『ほかのことはどうでもいいから、これだけは』と本当に言いたくなるような厳然たる重みをもつようになっていくものもある。自己犠牲、献身、面目、真実、正直、愛情……これらは、とくに昔気質の良家に見られるつつまじやかな美徳である。」

<仕事のもつ意味>

「仕事は、人間が、個人として、また社会人として、生きていくためにしなければならないものである。人は、その職業によって自分がどんな者であるかを説明する—「私は弁護士です、医者です、大工です……」というように。また、仕事は、人の生活に目的や意義を与える。人間は暇なときでも、釣とか、また、働いているときよりもはるかにからだをつかうような道楽に精を出すのである。」

ロータリーの世界より

■出席報告

本出 日 の席	会 員 数	70名	欠 席 者	阿部(襄)君、早坂(源)君、市川君、板垣(俊)君、石倉君、小松君、嶺岸君、板垣(広)君、佐藤(伊)君、佐藤(友)君、笹原君、高橋(正)君、津田君、藪田君、中村君
	出 席 数	55名		
	出 席 率	78.57%		
前出 回 の席	前回出席率	88.57%	メ ア ト ッ ク ブ	板垣(俊)君、黒谷君、三井(徹)君—鶴岡西 R・C 藪田君—気仙沼 R・C
	修正出席数	66名		
	確定出席率	94.29%		

五十や六十花なら蕾

七十、八十は働きざかり

九十になって迎えが来たら

百迄待てと追返せ

京都大徳寺内 大仙院 尾関園師作
住 職

老人健康と長寿十則

- 一、少肉多菜 一、少塩多酢 一、少糖多果 一、少食多飜 一、少煩多眠
一、少怒多笑 一、少言多行 一、少慾多施 一、少衣多浴 一、少車多歩

<会報委員会よりお願い>

- ・ 毎回会員各位にお願いしているように、スピーチ等の場合、原稿又は要旨（簡条書きでも可）を提出して頂くと、省力化が計れますので、御協力下さい。
- ・ 各委員会の委員長の皆さん!! 委員会報告用紙がありますので、御利用下さい。
- ・ 原稿、要旨、報告事項はスピーチ等終了後、直ちに会報委員にお渡し下さい。
- ・ 写真は印刷の関係上なるべく白黒でお願いします。